



ISなどのイスラム過激派の活動だけでなく、少年の暴挙など不穏な日々が続いています。さて、暴挙といえば、国による経済政策にもみてとれるのではないのでしょうか。

国は株価で官制相場をでっちあげ、世間を浮足立たせようとしているのでしょうか。その吊り上げ方は、国民の財産を市場に垂れ流し、悪意を持って株バブルを牽引しているようにも感じられます。これが最後の花道にならない事を祈るばかり。

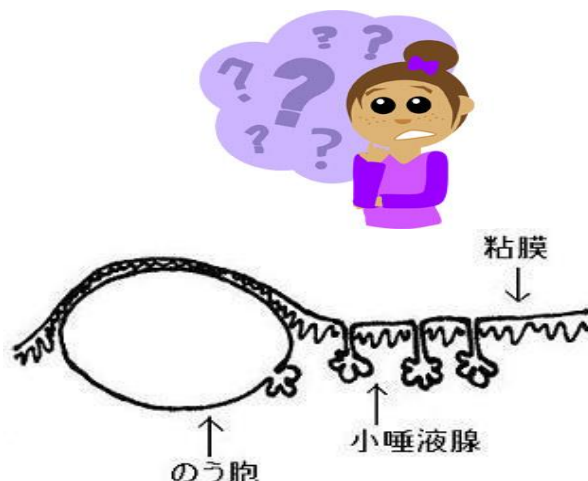
ではその悪意とは何か？ この次に起こりうる混乱はいかなるものか？ 秋から始まる「マイナンバー制度」などからこの国の指導者たちの素顔が浮かび上がります。

まず選挙に行く、など我々庶民にできることは限られますが、歴史をふり返り、各人が真剣に未来を見つめ、思考する必要に迫られています。

痛みはないけど唇が膨れた！？



くちびるの中はこんな形になっています→



口の中の粘膜には小唾液腺という唾液を作り粘膜を保護する器官があります。これら小唾液腺の管が何らかの原因で(くちびるを噛んだりなど…)で塞がり唾液がうまく出ず、隙間に唾液が溜まることがあります。そのため、粘膜がブクッと盛り上がったようになります。**粘液のう胞**と呼ばれる唾液の袋です。小唾液腺の他に大唾液腺もありますが唇や頬に関係するのは小唾液腺です

好発年齢・部位

年齢・・・10歳未満から30歳代までが多く50歳以降の発症は少ない

部位・・・下唇にできる事が多い。時に舌の下や頬の粘膜にできることもあります。

治療

まずは経過をみます。経過をみても消えない場合には切除が必要です。

処置を行う場合 局所麻酔を行い 嚢胞上の粘膜をカットし 嚢胞と詰まってしまった周囲の小唾液腺を取ります。当院では 縫合でなく痕が残りにくいレーザーで止血します。

6歳臼歯（第一大臼歯）の大切さ （橋田）

最近、お子さんのお口の中をご覧になることはありますか？

就学前のこの時期は、ちょうど乳歯の時代からいよいよ永久歯の時代に入っていくと曲がり角にあたります。さて、最初に顔を出す永久歯はどれで、どこから出てくるのでしょうか？それは、乳歯の一番奥の歯のさらに奥から生えてきます。6歳臼歯（第一大臼歯）といい6歳前後に生えてきます。

この歯は、大人の噛む力の中心的役割を果たし、全体の歯並びの基準となるととても大切な歯になります。乳歯列に追加されるように生え換わる乳歯はなく、新しいところから歯列の後方に仲間入りするため、乳歯だと勘違いをしている保護者の方が多くいらっしゃいます。

「えっ！それ永久歯ですか？」と言われることも少なくありません。

その上、生えるスピードがゆっくりなので乳歯より一段低く前から覗き込むくらいでは見えないことがほとんどです。当然、歯ブラシも届きにくく磨き残しが多くなります。

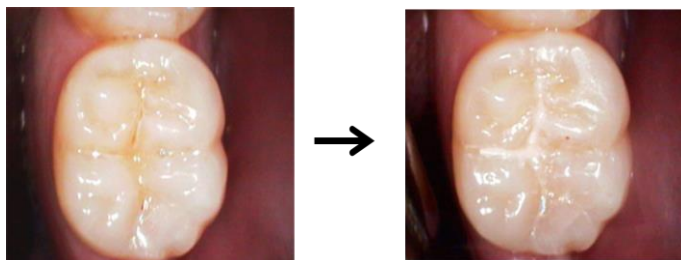
生え始めの時期は、エナメル質も軟らかく酸にとっても弱い状態なので虫歯になりやすく、さらに噛む面の溝が乳歯に比べて深いので虫歯になりがちです。



溝を塞いで6歳臼歯を守ろう！ フィッシャーシーラント

シーラントは予防填塞のことで、噛み合わせの深い溝にフッ素を配合した樹脂を埋めて溝を浅くして虫歯になりにくくする予防処置です。

歯の噛み合わせがすべて見えるようになれば開始時期です。



磨耗や噛み合わせなどの様々な状況のより外れてしまうことがあるので定期健診を受けてチェックします。

シーラントをした後も正しい歯磨きをしなければ虫歯になってしまいます。6歳頃というとまだ十分に自分で磨くことができない時期。保護者の方が仕上げ磨きをするとともにフッ素塗布やフッ素入り歯磨き粉、デンタルフロス（糸ようじ）など使用して虫歯予防に努めましょう。